



Announcement

お知らせ

2020年4月28日
在日米国商工会議所

ACCJ、新型コロナウイルスに対する会員企業による支援策を紹介

在日米国商工会議所（ACCJ）は「ACCJ vs COVID-19」という新たな取組みを本日発表しました。この取組みでは、新型コロナウイルスによる危機に一丸となって立ち向かう ACCJ 会員企業が提供する事業継続性や安心・安全な社会づくりに対する支援策を、企業だけでなく一般の方々がより簡単に利用できるよう、ウェブサイト上で紹介しています。

ACCJ は「フォーチュン・グローバル 500」に掲載されている大企業から中小企業や起業家など、世界有数のブランドや最も革新的なアイデアを持つ会員により構成されています。

ピーター・フィッツジェラルド会頭（グーグル合同会社日本法人代表）は次のように述べています。「この未曾有の危機を乗り越えるため、ACCJ メンバーはビジネスコミュニティの一員として互いを支え合うための革新的なアイデアを生み出すために団結しなければなりません」フィッツジェラルド会頭は続けて「ACCJ がコミュニティ支援の架け橋として機能し、ACCJ のメンバーが自身の事業の枠組みを超えた幅広い支援を行うことを望んでいます。この度の危機への対応にグーグル合同会社として参画し、他のメンバー企業とともに ACCJ vs COVID-19 のイニシアチブにおいて連携できますことを嬉しく存じます」と述べました。

シスコシステムズ合同会社 代表執行役員社長 デイヴ・ウェストは次のように述べています。「私たちシスコの企業文化は、社会への還元です。私たちはいまそのことに集中しており、企業、生徒、教師、そして政府がこの問題を解決することを支援するためにできる限りのことをしています。もしテクノロジーが、人々が独り、自らを他の人から隔てる取組みをしているときに、より良いつながりを作ることに役立つのであれば、また、人々が力をあわせ問題をより早く解決することに役立つならば、そして、これから数ヶ月にわたって日本の社会をより良いものにすることをお手伝いできるのであれば、私たちは貢献できることのすべてを行っていきます」

グーグル合同会社とシスコシステムズ合同会社を筆頭に、多くの ACCJ 会員企業が ACCJ vs COVID-19 に参加しています。ACCJ の会員企業が提供する支援策の詳細は以下ウェブサイトに掲載しております。www.accj.or.jp/accj-vs-covid-19.html

フィッツジェラルド会頭はまた、「ACCJ 会員は、テレワークや遠隔学習のツール、ワクチン開発を支援するための技術などを通じて、事業継続性の確保と日本社会の福祉の向上を支援して

います。我々、国際ビジネスコミュニティは日本の保健衛生と繁栄に協力することを約束し、可能な限りの方法での支援を行う用意があります」と付言しました。

ACCJ は業種を問わず、会員の本取組みへの参加を募っており、会員でない企業の皆様でコミュニティへの貢献を希望する方からのご連絡も受け付けております。

以上

###

2001 J

－在日米国商工会議所について－

在日米国商工会議所（ACCJ）は、米国企業 40 社により 1948 年に設立された日本で最大の外国経済団体の一つです。米国企業の日本における経営者を中心に、現在は 1000 社以上を代表する会員で構成され、東京、名古屋、大阪に事務所を置いています。日米両国政府や経済団体等との協力関係のもと、「日米の経済関係の更なる進展、米国企業および会員活動の支援、そして、日本における国際的なビジネス環境の強化」というミッションの実現に向けた活動を展開しています。また、60 以上の業界・分野別委員会を中心に活動を行い、意見書やパブリック・コメント、白書等を通じた政策提言や、政策や経済の動向等について年間およそ 500 のイベントやセミナーを開催するとともに、各種チャリティー等の企業の社会的責任（CSR）活動にも積極的に取り組んでいます。

【お問い合わせ】

本件に関するお問い合わせは、在日米国商工会議所 コミュニケーション部（メール：comms@accj.or.jp）またはメンバーシップ部（メール：membership@accj.or.jp）までお願いいたします。